

## **富士山の「山開き」**

7月に始まる富士山の登山シーズンは、双方とも「山開き」を意味する、お山開き、または開山祭として知られる儀式で始まります。これらの儀式は双方ともに凍てつき危険な冬の終わりを祝い、その後2カ月間に富士山を登山する20,000人以上の登山者の安全を祈願するものです。

### **北口本宮富士浅間神社 - 吉田登山道のお道開き**

北口本宮富士浅間神社での式典は、頂上への吉田登山道の始点となっている門で開催されます。特別な「お道開き」神事は6月30日の夜に開催されます。神官が率いる一行が、拝殿の前に吊るされているチガヤ製の特別な茅の輪をくぐると、怪力で知られる神、手力男命の扮装を身に着けた参拝者が重い木槌で登山道の門の端から端まで張られ儀式用の縄を叩き切ります。神主がその門を通り、それに他の神官や富士講巡礼者が続き、新しいシーズンの山開きが執り行われたことが宣言されます。翌朝にはさらに本殿前でも式典が行われます。

### **天狗が山から下りてくる小御岳神社**

小御岳神社の神事は北口本宮富士浅間神社での式典と似ていますが、小御岳神社ではこの役が神ではなく、山に住み強力な霊力を持つと言われる翼を持つ生き物、天狗が2匹で行います。天狗は小御岳神社の昔からの眷属であり、これらが鳥居の間に張られた縄を巨大な斧で切ることで富士山の山開きをするのです。